京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六二)
發行所 京城新報社

京城居留民公文

京城居留民團告諭第一號

居留民團稅其他ノ公課納入ニ關シテハ[illegible]以前ニ於ケル舊慣ニ因リ便宜[illegible]ニ定額ヲ派シ取立ニ從事セシメ來レルモ右ハ正當ノ手續ニアラサルノミナラス往々不測ノ弊害ヲ醸スノ嫌アルヲ以テ來ル四月一日ヨリ全然吏員ノ取立ヲ廢止スルト同時ニ滯納者ニ對シテハ直ニ督促ヲ爲シ尚ホ指定ノ期限內ニ納付セサル者ニハ滯納處分執行ノ不得已ニ至ルベキヲ以テ自今納稅告知書ノ交付ヲ受ケタルトキハ直接會計役ニ納付シ必ス納期ヲ愆ラサル樣特ニ留意セラルベシ

明治四十三年三月二十九日

京城居留民團 民長 古城菅堂

京城居留民團告示第十一號

來ル四月一日ヨリ當民團立各小學校通學區域左ノ通リ之ヲ定ム

明治四十三年三月三十一日

京城居留民團民長 古城菅堂

小學校通學區域

櫻井尋常小學校
東四軒町、西四軒町、新町一圓、大和町二三、本町六七八九十、岡胞町、光熙門通二三、芳山町、竹園町、若草町、櫻井町、花園町、初音町、紅葉町、東大門通二三、琵琶町、仲町、二葉町、大井町、舟橋町、林町、笠井町、玉川町、惠化門通、敦化門前通、表橋通

日出尋常高等小學校
大和町一、日の出町、壽町一二三、南山町二三四、曙町、本町三四五六、永樂町一二三、黃金町、水標橋通三、長橋通二三四、倭城臺

南大門尋常高等小學校
本町一、二、本町一裏通、明治町一二三、南山町一、旭町一二三四、彌生町、米倉町、南大門通一二三、鍾路通二三、光化門通、東雲町、廣川町、三角町、幸町、茶屋町、羽衣町、太平町一二三、北米倉町、長谷川町一二三、新橋通一二、西大門通一二三、竹添町、獨立門通一二三、和泉町、昭義門通、蓬萊町一二三四、御成町、古市町一二、吉野町、青葉町、岡崎町、漢江通一二三四五六七、水道町一二三、三坂通一二三四五六、山下町一二、小松通一二三四五、柳町一二三四、櫻町一二三

京城居留民團告示第十二號

本年四月一日ヨリ株式會社百三十銀行京城支店龍山派出所內ニ於テ左記區域內居留者ニ對シ當民團稅其他諸收入金ノ收入事務取扱ヲ開始スルヲ以テ各納人ハ便宜同所ヘ納付セラルヘシ

明治四十三年三月三十日

京城居留民團民長 古城菅堂

記

區域

漢江通一、二、三、四丁目
小松通 一圓
三坂通一、二、三丁目
柳町 一圓
山下町 一圓
櫻町 一圓
水道町 一圓
通稱苑町 一圓
通稱田町 一圓
通稱南山下町 一圓
通稱大林町 一圓

以上

京城居留民團告示第十三號

明治三十九年京城居留民團規則公告式第二條ニ依リ大韓日報、京城新報、朝鮮日々新聞ヲ以テ公告式登載新聞紙ト定ム

明治四十三年四月一日

京城居留民團民長 古城菅堂

寄書

隨感隨筆 石井生

三十一日發行の京城日報に「韓國と基督敎」と題する一文を收む、其前段に曰く「頃日の內地新聞を見るに著しく該問題(即ち外國宣敎師の行動に關する)に就て論及せられ今更の如く世人の注意を喚起せらるゝものゝ如し而かも其論議する處は在韓宣敎師の跋扈を痛論し排日的行動あるを誹議せざるなし吾人は全然之等の言論に同意する能はず」と、而して京日子は之れを以て世人の誤解に出づとし、斯の如き觀察が我本國の言論界に傳へらるゝは洵に氣の毒なりと云へり。

京日子は抑も何の據ありて我內地新聞の言論を誤解に出づるものと爲す矣、又內地新聞が宣敎師が排日的行動を爲せりとの誹議は皆世人の誤解を根據とし、若くは漫然憶測無實を誣ゆるものと爲す乎、信じて斯る言を爲せし乎、將た御用紙の立場として爲さざる能はずして之れを爲せし乎、或又統監府の內意を受けて、宣敎師の如何なる行動を以て日本人は排日的行動と見做すかを指摘せしめ彼等を反省せしめんが爲め內地新聞及世人をして悉く其の事實を揭げて世人を愚にし宣敎師に媚るが如き態を爲すは、吾人の叱責に値す。

次に京日子が韓人傳導師の行動を非難せるは可し、併しながら傳導師の行動が能く排日的意味を帶ぶる韓人を基督の名の下に集め得る事は宣敎師の決して厭はざる處なるは事實之れを證明す开は政治的關係と宗敎とは自ら別個の條理に支配さるべきものにして何等敎義に逕ふものなしとせんも、彼等宣敎師の或者が治外法權の楯の蔭に信徒たる韓人の非違をだに庇ふは決して稀有の事たらざるに於て、宣敎師の心中傳導師の行動を許容せるは自明の理とすべく且同時に彼等が治外法權の楯を突くことあるを以て見れば、彼等の行動と雖とも尚は其言ふ處に似ず、國家的關係を超越したりとは云ふべからず吾人は京日子が此點に論及せざりしを遺憾とす。

京日子は尙ほ末段に於て曰く「一方傳道師が孜々として傳導に從ひ布敎に努め偏へに人道の爲めに拮据黽勉せる其一方に於て片つ端より其功業を破壞し其神聖を汚瀆し行くは實に韓人傳導師なりとす」と、而かも傳導師の斯る行動を許容せる宣敎師の雅量は恰も京日子が宣敎師の勞苦を欽仰するの雅量と相如く、若し或は京日子が氣取る事分に過ぎ、巧言を以て宣敎師に油をかけたる積りなるやも斗られざるも、今の時然る手は食ふ筈もなし、万一又吾人が前に記したるが如く、京日子にして統監府の內意を受け、世人をして宣敎師の行動を指摘せしめんとするの意あらば、吾人も亦聊か協力の勞を取らん、京日子以て如何と爲す。

鐵道院の縮小說

國有鐵道は二回の改革を經て冗員を淘汰し經費を節減すると共に中央集權制を地方分權主義に改め五管理局を置き銳意改善に怠りなかりしが已に地方分權主義に則る以上は鐵道院本部の現在は其組織徒に大に過ぎ寧ろ事務澁滯の恐あるを以て後藤總裁は更に第三次改革を斷行し同院官制に一大斧鉞を加へ延て生ずる冗員淘汰をも兼ね行はん決意を有し目下頗る秘密に調査を進めつゝあり從て未だ具體的の成案ありと云ふにはあらねど聞くが如くんば現在の五部一所制に併合を行ひ同時に本院の職制をも改め之に伴ふ職員の減少を期するにありと

●賊の兵器押收頻々 京畿、黃海二道に出沒する暴徒は搜索隊の搜索嚴重なる爲め進退に窮し所持の武器を隱匿して土民に變裝する者多き由にて搜索の結果三月二十七日楊州郡於等山面に於て銃一、刀一を同日見山郡多崎面に於て銃一を同二十八日永平郡西面に於て刀一を同二十九日抱川郡靑楊面に於て銃一を押收し又永平郡西面に於て尹敬有(五十年)なる者を逮捕したるが彼は明治四十年十二月頃より今日に至るまで義兵召募將と稱して民財を掠めつゝありし者なりといふ

遙かに畝傍山御陵を拜し奉る

地方通信

▲平壤通信

▲江岸工事測量 當觀察道にては當地新市街に接する瑞氣通終點目下鑛業所の所在地沿岸より大同江流に沿ふて普通江合流點に到りて夫より更に普通江に沿ふて平壤を一週せんとする一帶の地に水害防禦の爲め堤防の修理を爲さん計畫あり右に就き既に同地域に對する測量に着手しつゝある事は記する所ありしが右の測量は其後着々進捗して昨今は既に其九分通りを了し近々全部の竣成を見る筈なりと云ふ又右に對する實地に於ける工事の着手期に就ては未だ經費の豫算其他に就き手續を了せざるものあれば判明せざるも既記の如く之が經費は觀察道に於ても略出途を得居る趣なれば今後右に就き可然手續を了し其良好なる結果を得たらむには本年出水期迄に是非着手せらるべしといふ

▲補充憲兵出發 今回當憲兵分隊管內に於て滿期となりたる下士以下上等兵は約百名ありし趣きにて內約三分の二は再役に服し除隊となりたる者は三十七名なりしが右に就き之が補充員四十名は前當分隊へ着したれば數日分隊長水間少佐は之等の新任憲兵に對し服務上に關し及び今後の執務方針等に就て訓示する所あり何れも各自任地へ向け出發したり

▲小學擴張と職員增加 當尋常高等小學校にては修學兒童の增加に伴ひ校舍の狹隘を感ずるに至りたるを以て過般新に之を增築すると共に兒童の學級數をも增加し隨て職員をも增加する事となりたるが內一名は過日既に任命あり又更に一名は近日着校任命ある筈なるが右の增加を要する敎員は全部五名にして四十二年度に於て二名四十三年度に於て三名を增加する事となり居れるが二名は前記の如く既に發く決定したれば猶殘部三名を存するも之とて既に內定し居ると云ふ

▲平壤駐屯軍交替 第六師團の先發隊は既に來壤したるが平壤駐剳の第十一旅團、步兵第二十三聯隊と交替すべき第三旅團、步兵第六十五聯隊の豫定なりしところ其後變更し第三旅團司令部步兵第二十五聯隊來壤駐剳する事となり旅團長中村無一氏は香川旅團長と聯隊長森知之氏は橋本聯隊長入れ替り而して新聯隊の副官大尉保田等兩大隊副官中尉鈴木保治、中尉大島準兩小川倍平諸氏と下士十一名は先發隊として去る二十七日着壤し兩副官は直ちに第二十三聯隊との引繼準備に着手し兩中尉は地方派遣兵に關する準備をなしつゝあり尙は第三旅團司令部、步兵第二十九聯隊は四月十四日釜山に着し鐵道便にて十六日着壤すべき筈なり

▲近時の雜穀商況 結氷中の平壤に於ける雜穀にして各銀行興業會社の倉庫或は穀物商人所有の倉庫等に貯藏せるものは解氷と同時に米、大豆、小豆は阪神地方に向け船積として輸送し平壤在品は已に當用口のみとなり粟も赤船積便により元山方面に結氷中貯藏の幾分を輸送すべき豫定なりしに昨年粟の改穫時期近くに至りて成川、順川地方に水害あり爾來同地方に於て粟の需用最も熾んなる爲め元山方面への輸送は沙汰止みとなり目下平安農工銀行に一千叺の倉入あり而して平壤に集る粟は何れも中和、黃州附近の產に係る

▲觀光團計畫決定 既報の如く朴平壤郡守は去る廿八日平壤郡衙內に郡內に於る資產名望ある韓人を召集し有志韓人日本觀光團計畫に關する諸般の協議會を開きたるが其の結果尹泰中、李德煥、朴經錫、金東元、鄭任命、金聖鉢、方興因、朴鳳輔、李炳斗、方廷享、張永輪、李春燮諸氏を發起人とし勸誘其他に種々盡力する事となり李觀察使、大木道書記官、若松理事官、李事務官朴平壤郡守、小原鐵道參事補等贊助員として力を添ゆることゝなり加入申込所を大和町平壤日報社內と定め平壤郡內の外京義線沿道各地方の韓人等にも加入を許すことゝし目下黃州、安州、新義州方面にも勸誘中なるが加入申込期限は四月十日迄にして行程十九日間費用一人金五十圓宛とし一客車を借切る豫定なりと(三月卅日)

京城新報

景氣恢復之曙光(下)

生產事業の勃興近きにあり

余輩は過日の本紙に於て景氣恢復の曙光見ゆると云つた、而かも余輩が斯る斷言を爲すは決して架空にあらず空想にあらず、全く斯く斷言すべき多くの理由を有するからであるのである
先づ何事を措ても言はざるべからざるは物窮すれば必ず通ずと云ふ事である窮して通ぜざれば纔詰りとなるのである、半島の經濟今や窮の絶頂にあるのである、絶頂は峠の天邊である、登り詰めた以上は必ず降らざるを得ぬのである、而り今や降るべき時期に到着して居るのである。
半島過去の經濟は實に混亂して居たのである、此混亂の狀態に在つては何人も安心して投資し能はぬ、一寸金融の方から云つても貸手が少ない、借手が多い、ソコへ以て危險が多い、利子は自然高からざるを得ない、世人動もすれば金利の點から金貸業者や銀行を批難する、併し金利の高いのは貸手の方に安心が無いのと、貸出資金に限りがあるからであるのである、若しも貸手に安心が附き資金が豐富となつたとすれば如何、氣の毒ながら現狀頗る貸手は借手に向かつて叩頭再拜日も之れ足らざるに至るは必定であるのである。
見渡すところ半島の山河比較的荒涼の光景を呈すと雖ども仔細に吟味すれば起すべき生產事業は澤山にあるのである、而かも各種生產事業が一向芽を萠かぬは金利の高き爲であるのである、歐米で七八朱內地で一割の利益を生む事業は有利なる業と目されて居るのである、而るに半島の現狀は如何、農業に於て一割五分、鑛業に於て一割二分其他何々を擧げ來れば一割五分迄の事業は澤山にあるのである、而かも此一割五分迄の事業が何故實を擧げ得ぬかと云へば夫れは金利が高いからであるのである、見よ現狀に於ては銀行の日步が三錢五七厘である、金貸業者の分が殆んど二割平均である、而して朝鮮側はと云へば銀行日步が五六錢普通貸借が年四割である、以上が現在半島に行はるる利率である、二割の金利の下に一割五分の事業を起して何の手取があるか、半島生產業の振はぬのは寧ろ當然であるのである。
半島經營とは前記一割五分の事業を成立たせると云ふ事である、其手段として金利を下げると云ふ事である、一割五分の事業に從事するものが飯が喰へる樣になれば半島の景氣が恢復したのである、之を大にしては半島の經營が成効の域に達したのである、茲に於てか余輩は金利の引下げを絶叫せざるを得ない否な絶叫する迄もなく東拓金融部は正に其力を金利の引下げに致さんとし目下其準備を爲しつつあるのである。
東拓會社は近き將來に於て二千五百萬圓の社債を五朱利で起し得るのである五朱の資金を八朱に貸附ければ會社の利益は十分である、果して然らば利率八朱の長期貸附に因つて一割五分の生產事業は油然として半島の各道に勃興するのである、此時に於ては最早地方に暴徒がなどと尻込をするものが無くなるのである、見よ利益さへあれば噴火の爲に住民全滅せる鳥島にさへ行くものがあるではないか、況んや景氣が直れば暴徒の危險も自然に消滅するの必定なるに於てをやだ。
只に東拓の事業資金供給許りでなく韓銀の低利商業資金供給も其實行亦た近きにありだ、之れに加ふるに內地事業家の資金を投ぜんとするものが正に續々現はれんとして居る、例を擧ぐれば和田博士井の角等の斡旋で二百万圓の紡績工場が近き將來に於て兼二浦附近に現はれんとして居る、某々資本家に仍つて雲母、黑鉛の採取は大々的に實行されんと爲て居る、しかのみならず半島の政治的位置も遠からず極まると云へば經濟組織茲に全く一變し苦がき第一期を過ぎて潑溂たる第二期に入るは蓋し必定であるのである。
經濟組織の變革は景氣の恢復を意味す決して待遠しと云ふ勿れ、五更已に過ぎて曙光見ゆんとす、夢油斷すべからずであるのである。

東京電報

▲**岩倉公爵の叙勲** 宮內大臣岩倉具定公危篤の趣き天聽に達するや特旨を以て左の通叙勳の御沙汰ありたり(一日夜)

宮內大臣韓太子補育總裁公爵 岩倉具定
叙從一位授旭日桐花大綬章

▲**岩倉公爵薨去發表** 岩倉宮相昨夜俄に胃潰瘍を起し腹中多量の出血あり午後十一時終に薨去せられたり(同上)

▲**濤貝勒殿下御觀覽** 濤貝勒殿下には本日陸軍省、陸軍衛戍病院を觀覽今夜は後藤遞信大臣の晩餐會に臨席せらるべし(同上)

▲**正金貸付の開始期** 政府の特別命令により横濱正金銀行大連支店が滿洲唯一の金融機關として長期貸付を營むの議は愈よ決定して五月一日より滿洲各地支店をして在滿洲中流以下の本邦商人に對し土地及建物其他の建築物を目的とし四百萬圓以內に限り長期貸付を爲すことなれり(同上)

▲**載濤殿下の御土產** 淸國貴賓載濤殿下より我陛下に御贈遺相成りたる御土產品目錄は左の如くなり

天皇陛下に
一、雕漆山水人物圖瓶 一對
一、琺瑯(此間電文不明) 一對
皇后陛下に
一、雕漆池盒 一對
一、琺瑯觀音像 一對

▲**下旬の外國貿易額** 三月下旬の外國貿易輸出千三百六十七萬七千圓輸入千百四十二萬二千圓にて輸出二割一分增輸入二割六分の減少を示せり(同上)

▲**東宮殿下の行啓** 葉山御滯在中の東宮殿下は昨一日橫須賀へ成らせられ軍艦薩摩及各工場を御巡覽の上東京へ御還相成る(一日)

▲**故岩倉公の葬儀** 一昨夜薨去したる岩倉宮內大臣の葬儀は來る六日海晏寺に於て執行す(同上)

▲**宮相後任の決定** 岩倉宮相の後任は渡邊次官に決し本日左の如く宮中に於て親任式擧行せられたり(同上)

任宮內大臣 宮內次官從二位勳一等子爵 渡邊千秋

▲**塩田整理の方針** 議會の協贊を經大藏省にて制定中の鹽田整理規則の內容を聞くに十箇所並に行德和田に鹽田を存置するの外全部製鹽を禁止する筈尙ほ本年度は東北より開始し四十四年度西南に及び全部の整理を完行すべし(同上)

▲**補育總裁の後任** 韓太子補育總裁は新任宮內大臣渡邊千秋氏に決定せり一兩日中發表さるべし

▲**在外學校令の改正** 法律第三十四號中在外指定學校職員退隱及扶助料改正の件公布されたり(同上)

哈爾賓電報

▲**淸國移民の增加** 山東省、直隷省各地の下級勞働者等當地を經由して黑龍江省內の開墾地に移住する者近來非常に增加せり(一日)

▲**膠州灣總督の通過** 獨逸租借地膠州灣總督トリッペル氏は獨逸より歸任の途次當地を通過し南滿線にて任地に向ふ(同上)

歐洲電報

▲**水產博覽會の開場** 海物生理學者としてモナコ皇帝の主催にかゝる水產博覽會開場式には佛國外相ビション氏及び獨逸ジョセフ海軍元帥代表者として參列しビ氏は佛國の平和政策を說きジ氏は獨逸皇帝の名代として同博覽會の成功に關する獨逸國の希望を述べたり(一日)

▲**アビシニア帝崩御** アビシニア國帝ベチリッツは崩御せられたり然れども全國平穩なり(同上)

▲**希臘軍人の同盟會** 希臘軍人同盟會は解散せり又同國議會に於て國民大會召集を豫告せる詔勅の朗讀ありたり(同上)

雜報

▲**未開墾地の整理** 未墾地利用法發布以來該法に基き昨年末日迄に許可されたる人員は二百九十人反別一万一千八百三十三町步に達せり今之れを道別に記さば左の如し

道別	許可人員(人)	反別(町)	畝數(畝)	貸下料額(圓)
京畿	五六	一、二八五	二七	六四三
江原	⋮	⋮	⋮	⋮
忠南	三九	三、四〇一	二七	一、〇〇〇
忠北	一	一四二	一	三二三
平南	三一	一、二一一	八	六〇五
平北	二四	三四一	二	一七〇
黃海	五〇	二、四三五	二五	一、三三三
慶南	六三	一、八二七	三	九八
慶北	一四	二〇七	七	一三三
全南	一〇	一、三七八	一七	六八九
全北	六	三一	四	一一〇
咸南	八	二四	一五	一三
咸北	四	一		三
合計	二九〇	一一、八三三	一五六	五、九一六

●**警察部長方面會議** 引續き開催中なる內部警務局警察部長方面會議は昨二日を以て終了すべき豫定なるが一昨一日は安住司法廳書記官の刑事警察に關する講話ありたる後松井局長の諮問に係る犯罪申告を勵行せしむる方法、留置場及監獄に關する實況、訓戒放[illegible]に關する職務執行の狀況等を議了し更に昨二日は各道警察署長の巡閱規程に關する諮問案及寄附金募集に關する件會計事務に關する件を付議し散會せしと云ふ

●**中學校職員の任命** 四月一日付を以て新設統監府立中學校職員に左の任命ありたり

任統監府中學校長兼統監府中學校教諭叙高等官四等 正五位勳五等 隈本有尙
任統監府中學校教諭叙高等官六等 正七位 小寺甲子二
任統監府中學校教諭叙高等官六等 陸軍步兵中尉從七位勳六等 廣田直太郎
任統監府中學校教諭叙高等官七等 小田倉啓
任統監府中學校教諭叙高等官七等 從六位 神谷四郎
任統監府中學校教諭一級俸下賜 日吉守
任統監府中學校教諭六級俸下賜 立石西吉
任統監府中學校書記兼統監府屬四級俸下賜
任統監府中學校書記十一級俸下賜 綿木長一

●**淸國密漁船の出現** 鴨綠海の漁場に於ける淸韓の密漁船は年々數百千艘の多きに及ぶを以て其の筋にては近年是れに對して嚴重の取締を勵し居れるが追々漁業の時期も近寄りたるより當局者は巡邏船の航行を爲さしめんと準備中なる折柄早くも七八艘の密漁船は多獅島の沖合に現はれたるを以て巡邏船を急行せしめたりと云ふ

●**公債特別會計現狀** 韓國政府が曩に借入れたる公債の內特別會計として取扱はれ居る金の現在高は八百四十三万三千二百五十六圓六十二錢なるが今其の內譯を擧れば如左

金 七六、〇八九・六二五 當座預金
金四、二〇〇、〇〇〇・〇〇〇 通知預金
金一、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇 定期預金
金二、五八七、〇五三・五三五 大藏省預金部
金 一三〇、一一三・四六〇 香港上海銀行當座

●**咸北方面署長會議** 去十八日より廿二日の間に於て咸鏡北道管內警察署長會議を鏡城に於て開催したり先陣警察部長、觀察使の訓示演說あり亞で諸種議案及諮問數項討議したりしが尙淸津支部より中川檢事臨席し司法警察事項に就き打合す處あり

●**宮相の薨去へ吊電** 宮內大臣薨去に就き二日石塚長官は統監府員一同を代表して吊電を發す

●**山口縣人會發起** 去月廿一日在京山口縣人廿餘名は食道園に會合して縣人會組織の協議を爲したるが其結果最も平民的に春秋二季大懇親會を開くに決し幹事五名を擧ぐ第一回は五月一日

●**兵須久氏送別會** 百三十銀行仁川支店長兵須久氏は近く大垣共立銀行に榮轉するより二日正午在仁官民有志は仁川俱樂部に招待して午餐會を催せり

●**鈴木局長の招宴** 度支部司稅局長兼關稅局長鈴木穆氏は五日午後六時より天眞樓に石塚長官等十數名招待の筈

●**橋本前校長消息** 前仁川民團立小學校長松本鎮三郎氏は今回其郷里なる大分縣日出町長に就任したりと云ふ

●**獨逸艦船の出港** 仁川碇船中の獨逸艦ホルスタイン號は芝罘に向へり

●**叙任辭令** 二日の官報を以て左記任命發表せられたり

任農林學校教授叙奏任官三等 八田吉平
任農商工部技師叙奏任官三等 三井榮長
任同部書記官叙奏任官一等 篠田治策
衛生事務を囑托す(勅任待遇) 山根正次
命關稅課長兼經理課長 關稅局書記官 有賀光豐
命海事課長 關稅局技師 木下重松
命關稅課勤務兼經理課勤務 關稅局事務官 深尾道恕
命關稅課勤務 關稅局事務官 安部直介
命經理課勤務 關稅局囑託 飯島榮太郎
命仁川關稅局在勤 關稅局事務官 小幡三郎
補航路標識管理所長 航路標識管理所技師 島重治

間島と韓民移住

北韓地方昨秋の凶作は同方面に甚大の打撃を與へ爲に人民の窮乏は一方ならず日々の生活に差支ゆるに至りしより間島若しくは渾春方面に移住を企つる者頗る多く殊に解氷の今日に於ては其傾向益甚しく牛車馬背によりて移轉地に家財を運ぶ者踵を接する程の盛なるが同韓民の移住は單に生活難のみに由因するにあらずして間島渾春方面は北韓各地に比し著しく小作料の割宜きと他韓移民に對し淸官憲は便宜なる貸地法を圖ると同時多少歡迎の意向を有する等主なる原因なるが如し是に就き地方警察署に於ては其原因及移住現狀等に就き精密なる調査を遂ぐると同時相當機宜の方法に就き講究中なりと

捕鯨根據地の狀況

江原道に於ける捕鯨根據地長箭洞の狀況に關し元山稅關長の報告要項を聞くに長箭洞は從來春秋捕鯨漁期に於てのみ斯業從事者相手に二三の飲食店並に小賣雜貨店の開業を見たりしも一昨年來韓國政府保護の下に定期流船の往復を開始するに至りてより此地方の開發を促したること少なからずして以前に於て日本人の常住者は漸く一家族のみなりしに現今にては十九戶七十一名を算し滯在客數も常に十數名を下らざるの見込なきものとして何人も顧るものなかりし數百町步に渉る荒蕪地の內二百町步は前年元山里在住崔某の手に歸し彼は之を水田となさんが爲め灌漑工事を施し好結果を奏せしより元山方面に於て小作希望者を募集せしに多數應募者ある由なれば近く彼等の移住を見るなるべく隨て同地方發展に資する所少なからざるべし

▲公共團体 三月同地居住有志の盡力にて日韓協和衛生組合を設立せり目的は日韓人共和一致を以て同地方の發達を圖るにあり組合長一名評議員六名內三名韓人及贊助員若干名を置く此外日韓消防組合日語學校設立に關し目下奔走中

▲新炭 薪十貫 四十五錢 三十錢 木炭十貫 七十五錢 五十錢

▲近郊の近狀 長箭洞より西北方約二里にして古來有名なる溫泉あり又た日本人某前年春此附近の土地五十町步を入其一部に數千株の桃樹を植付けたるに成育良好なるに依り本年亦適當なる果樹の植付けに着手する由なれば數年後浴客を招致するの一因ともなるべし

最近の邑は高城にして同地は現在邦人在住十餘戶なるも漸次增加の傾向あ

●**舜臣祭田と工學校** 慶南統營に在る忠烈祠と稱せるは文祿の役水軍の提督として雄名を擅ひし李舜臣の靈を祀る是に附屬する祭田も少からざりしが先年某郡守は同地に工業學校を設立せんと其附屬田を賣却せるも遂に其運に至らず現金は郡衙に保管し置く事となり荏苒今日に至りしが然るに同地實業會々頭廉鳳律副會頭徐相洽の二人は先頃突然耶蘇教徒と化し二人は同教の勢力を籍り同教經營の下に一種の工業學校を設立せんとの口實を以て該保管金の引出し方に就き種々の方面に皮肉なる運動を試みつゝありと

●**湖南線と木浦民心** 湖南鐵道の敷設決定に就き木浦居留民の滿足は既報の如くなるが是に就き去廿六日在留民三百餘名は盛大なる祝宴を張りて賀禱を表し引續き即夜提灯行列擧行の手筈なりしも生憎雨天の爲め一日順延し廿七日午後七時より開催したりしが會する者約七八百名に上り盛況を極めたりしが同九時頃何等異狀なく無事散會を告げたりしといふ

●**定款改正認可申請** 別項の如く京城商業會議所にては過般の總會に於て定款の改正を決議したるを以て本日理事廳へ認可の申請を爲したり改正の要點を擧ぐれば左の如し

一、補欠議員を廢止したる事
一、課稅の標準を改めたる事(從來十圓なりしを十五圓に改めたり)
一、三級選擧を二級選擧に改正したる事
一、定款を以て會議所內に調查部を設置することを規定したること

●**東拓本社建築決定** 東拓會社は京城某街に本社建築を決し既に敷地の買收も結了せるが目下設計中に就き本年中には起工すべしと

●**商會定款改正可決** 京城日本人商業會議所は去月三十日定款改正に關する總會を開きたるが委員會報告の通り全部可決せりと云ふ

●**安藤謙介氏の入京** 前愛媛縣知事にして現に韓海漁業株式會社創立委員長の安藤謙介氏は內田忠光氏と同伴二日夜入京天眞樓に投宿す

龍山通信(二日 支局發)

▲韓國鐵道管理局囑托にして龍山民會議長たる海津三雄氏は宿痾療養の爲め二日午前九時出發東上せり▲小原鐵道院副參事は一日來龍兩三日滯在の豫定▲獨國武官ハルトック、ケンメル、クング氏は去月三十日來京龍觀察中なりしが昨二日新義州に向け出發滿洲の古戰場を巡覽する筈▲去頃の紙上に龍山火葬場敷地撰定の件に關し報道する處ありしが其後警察及民團より實地檢分せしに豫撰地三個處中二個所は全然不適當なるが他の一個所は恰好の場所なるも度支部煉瓦製造所に近き爲め還も亦却けられ又もや當の如く敷地撰定中但し適當なる地所無しといふことになれり之れを聞きたる居留民中氣早の連中は煉瓦製造場は同製造業者を寄迫して遂に民業を奪ひ一般の需用者をして運搬に不便にして且高價なる供給を受けしむべく强いたるものにあらずや能ふべくんば同製造所に隣接して火葬場を設立し民心の在る處を馳するも快ならずとせずなど息卷くもあり开は兎に角苟も人烟の揚る所而かも甚だ便利なる位地に此處こそ火葬場に適當なれとすべき場所を發見するは固より難事なり殊に千年万年待つたとて坤輿上の地積が伸縮することも先づ有る筈の理なし隨て龍山の地積は居留民の增殖と共に漸次狹隘を感ずるに至ることはあるべきも地積伸びて此處に恰好の地の湧いて出でんことはあるべからず去れば將來は知らず先づ今日にては龍山の玄關とも云ふべき元町四丁目と京城青葉町との境界地點に避病院を構へられたるの光榮を有する龍山に取りては避病院ほど恐ろしからざる火葬場の選定には然程の斟酌も要すまじき事なりこれ無くてはかなはぬ必要事には鼻も削ぐといふ諺もあり此奴も例の何とかして欲しきものなり

●**長島判事の通過** 長島平壤控訴院長は一昨一日龍山通過釜山に向へたり

●**平渡書記官歸任** 東上中の平渡內部書記官は四日東京發歸韓の途に就く

●**森井判事の出發** 入京中なりし森井判事は一昨一日出發仁川に向ひたり

●**三上秦行氏出發** 入京中なりし金泉日本人會長の同氏は一日出發歸泉す

▲**治外法權**▼

岩倉宮相の薨去は實に意外であつた、公は華胄の出であつて、溫厚にして而かも德望高く、政治的手腕も又備はつて居たそうだが常に宮中に隱れて晩年漸く宮相となつて間もなく其計を傳へたのは國家の一損害である、或人曰く韓太子の補育總裁になると不意に死ぬると、縁喜でもない話だ▲外人宣敎師等が着々布敎に成效するに引換へ日本の牧師先生達は一向に振はない、夫れに近頃は敎會內に魔風惡風吹き荒び忌はしき話を屢々耳にする即ち某幹事の妻君とドクトル某令孃と其店員而かも之等の成立は何れも協會出入から起つた事であるそうやら三面子の耳にも這入つて居る樣だ▲海老名牧師の來韓は外人宣敎師等に對して非常に好感を與へたに違ひないが、折角斯かる人物の渡韓を促す側から地方では小官吏が頻りに基督敎を排斥する統監府も隨分御困まりことゝ見へる。

往く雁歸る雁(下)

義理の兄妹は破天荒の妙案
蟲山は腹を抱へて涙に咽ぶ

狡猾なる何の老母に口說き立てられたる何が情夫の某は思ひがけ無き言葉に暫く呆然として居たりしが若いぞ自慢の一つに敎へる優男とて然らば猫へ纏き心の苦しみ忍むで兎も角もれ言葉に從ふべしと云ひしかば女が親は其日は其まゝ若者を歸へし遣りれ何にはしてやつたりと思ふ心を色にも見せず其斯る事の起りしを知らせずして兩三日を過ごし再び若者を呼び寄せて窮屈なる勤めの身の氣も心も伸々する折りも無かるべし今日れ何とは兄妹の仲なれば何を遠慮することも無し朝夕は當方に來て寛ぎ給へと云ひつゝハテ心得ぬ母人の言葉よと訝しげに注視する娘を見返へり初めて過ぐる日若者を睨き伏せたる事の前後を語り聞け斯くなる上は昨日迄の情は爽に角改めて兄妹の交りをせよかしと婚姻はまだ一二箇月の間もあれば互に兄妹喧嘩せぬやう仲好く遊べよと言外に意味をもたせし老母が心をれ何は怨めしくも聞けど又朝夕遠慮なく顔見ることを許されし嬉しさに有耶無耶の中に其場を濟まし夫れより後は羨ましき義理の兄妹岡目には似合の夫婦とも見ゆる斗りなるを若者が身の行狀を監督する向きの人々聞きて捨て置けずと或日女を呼出して聞糺したるに女は兼ねて期したる事なれば彼の方とは既に關係を斷ちて今では赤の他人で無うて眞實の義理の兄妹其の證據は此の通りと其以前老母に迫まられて余儀無く取り交はしたる絶縁の一札には「但し何事一度嫁ぎ候ども眞ー離縁となりて實家に復歸したる節は乾ど／＼相違無く兄妹を止めにして夫婦に相成るべき事」とて飽までも恐ろしき程入念の證書をば取出して見せければ係りの役人も腹を抱へて涙に咽むで感心し其まゝ放ち還へせしにぞ老婆は今が潮時ぞと獨り打點頭きつゝ直ちに婿君方へ交渉して密かに婚禮の準備を調へ明日は愈々式を擧げるといふ今宵若者を呼むで向後萬一の誤無き樣諭しつ泌み／＼と義理の兄妹に名殘を惜ませしに其時二人は尚堅く絶縁狀の但書きをば復習しつ例へ遠く分れて住ひとても二人が心の變らぬしるしはとわたる雁にことづけて切めてもの心遣り其玉章の數積るを見て離縁れて歸へる日の近づきしを知るよすがともせんと誓ひれ何は其契り滑り無く婚儀を濟まし新夫に伴はれ何州とやらへ旅立ちしが去る程にさても其後れ何は新夫に愛され何不足無く暮らす中にも離縁れて歸へる日の待遠く春も秋も唯一時に經つてくれよかしと思ふ心の天に通せよとてか季節も分かぬ雁が音は飛びて往來の拐ても繁しとか(をはり)

刺客三名の東上

▽統監府鈴木警部の東上

去る三月十一日長崎に上陸したる三名の怪しき韓國人あり、彼等は刺客團の一分子にて注意すべき人物なりとの事に其筋にては直に刑事巡査を尾行せしめて其行動を內偵せしめし所其一人が李某と稱する外は少しも判明せず中國から東海道に向ひて十六日午前八時頃濱橫驛通過の新橋行大急行列車に乘込みたる旨急報ありたれば濱松署にては靜岡縣廳の命により若林部長、佐藤巡查の二名が尾行したるに三名の中一人は日本服他の二名は洋服にて二等室より三つ目の三等車に乘込み居り時々何事をか密談をしては呵々大笑するのみ何事を目論見居るや發見する事能はざる中に汽車は國分津に着き遂に其の蹤跡を失したるにぞ其筋にては爾來嚴重に其上京の目的及所在探偵中なりしが其後調査の結果右三名の韓人は京城住閔忠村(三〇)申辛均(三〇)鄭嘉駿(三一)なること判明するに至れり彼等は六七歲の頃より政治に熱中し菊地博士を狙ひたる刺客と同じ排日派なりとのことなるが此の報に接したる統監府にては第二課訊問係り鈴木警部を秘密搜索の爲急遽東上せしめたるが同警部は二十八日午後一時靜岡に立寄り同縣高等警察部と打合せの上直に上京したるが三人共刺客たるは疑ふべからず何れも油斷なり難き危險人物なれば目下嚴重に所在搜查中なり

●韓人の頭をれ刺肉

▽にせんとして捕はる

仁川花町三丁目飲食店菊之屋事福家泰一郎內縁の妻島井さき(二二)と云ふが一昨日午後七時頃同店雇人なる濟川島生れ安奉天(三二)の頭部左傍に刺肉庖丁にて長さ一寸五分位の創傷を負はせたる旨急報に接し花町派出所より神巡查出張して取調べしに被害者安が何處にて飲酒したるものか同日午後五時頃千鳥足を踏み占め／＼歸來し太平樂を列ぶるにぞさきは兼て女結髮を營める口入丁の女とて默々に附せず妾を捕へて强意見を爲したるに韓人に似合はず剛情なる安は「ヘイ要らぬ差出口聞きたくもなし……と賣言葉に買言葉暫しが程は互ひに敗けず劣らず口論に華を咲かせしがさきの方聊か後に堂若となるや憤怒の炎燄へんに由あらばこそ矢庭に安に喰つて掛り同人が時しも料理しつゝある刺肉庖丁を取手早く安の頭部に切り附けて負傷せしめしものと判明せしかば被害者には直に應急の手當を加へ加害者は證據の庖丁と共に本署に引上げて取調中なり

女振り

森川かね女

南大門通り二丁目で屋號を荒備と云つて海產物商の森川晋吉と云ふ人がある其の妻君が即ちかね女で當年二十八歲御亭主とは二ツ違ひの萬事に拔け目の無い所謂商家のれ內儀らしいれ內儀、去る三十九年中渡韓足掛け五ヶ年の間常に夫の片腕となつて現今の信用ある商家の地盤を作り上げたのであるが常住黑の上張り姿で客の應接から一家の整理迄殆んど間然する處なく万事に往き届いた者だ御亭主の晋吉さん時々珠盤のケタを外して巫山の夢に通がる事もあるがかね女中々碎けた者で「は、御勘定がれ難らですか、妾しが拂つて參りませう」と云ふ調子、是には流石の晋吉さんもギャフンと參つて閉口／＼まだれ兒さんはありませんかと何氣なく聞けばホヽヽヽと顔赤らめて「ある其ない共まだ貴下今度が始めてゝムいます」と帶の邊りを叩かつしやる、見れば成程普通の軀でないらしい、今度は此度が赤くなつて「オヤれ懷孕ですか」ともまさかに云ひ兼ね「それは結構」と許りの逃げ口上本店は生れ古鄉の大和國其處には兄さんがれ壯健でムるとか。

●鼻アの口三紋

本町通り七丁目裏の增田きぬ(二二)と云ふは一昨一日夜連れの女と三人打揃ふて京城座見物にと出懸けたるが芝居も濟んでの歸り途寒さ凌ぎにとて其處等のうどん屋に立寄りて燗瓶の三四本がもの引つ懸けて微醉ひの上機嫌となり三人ながら口三味の調子も邊り構はぬ高聲にて七丁目の四つ辻を左に曲らうとする出合頭ばつくり現はれたれ巡りさんに引つ捉まられ時も十二時過ぎの安眠妨害の說敎散々に聽され先つきの醉ひも何處へやら淸くなつて平謝まりに謝つて其盛歸りませうとはても世話の燒ける嬶ア共かな

●觀世素謠月並會

來る七日(木曜日)正午後六時より京城婦人會々場に於て催しあり、來聽隨意猶は當夜の番組は左の如し

△張良(山口氏、瀧谷氏)△鞆(賴光笹部氏、保昌井上氏、森氏)△鐵輪(三野氏、佐々木氏、男田本氏)△花月、神吉氏、村上夫人)△鐘馗、木村氏、片山氏)△番外 藤待子(佐々木夫人、千勝氏、安住氏、判官花田氏景房栗並氏、鷲尾福垣氏)

●京城玉突大會

京城大和町一丁目河內屋玉場に於ては二日三日四日の三ヶ日間大競技會を開催する由なるが特點は百五十點迄とし一等賞米國製自轉車一臺二等賞上等盤笛一箇、三等より十等迄夫れ／＼賞品あり責任賞は一等より三等迄とし會費一圓五十錢出直し五十錢なりと定めし盛況を呈せん

●韓人の掴み合ひ

南署水同橋住餅商吳昌植(三九)及び同署小公洞住金德仕(三二)と云ふ韓人は一昨一日打連れて小公洞の酒幕朴聖煥方へ這入り込み散々腹ら飲酒の果ては兩人間に掴み合ひを始め結局其筋の御厄介となりてれ目玉

●優等朝顔種子分讓

長野縣下高井郡延德村篠井通二丁目梅月園朝顔部は多年該花の培養に苦心を凝したるが今回地方の同培諸士より高逸の得褒を博せられたる牡丹咲、菊咲、丸咲、雀咲車咲、手長檜梅咲、耕綿七福葉菊咲、亂菊獅子咲、立田咲、咲別、茶筌咲、孔雀咲、撫子咲等斯界に稀なる奇品大々輪咲のみ十六種色各種別袋に花好同士は一組に付實費郵券三十錢を送らば詳細なる人工媒夫法と加ふるに洋種麝香撫子石竹十種類添へ速に送種すと

●優等朝顔種子の分與

信濃國下高井郡延德村の高井撫農社に於ては各地の朝顔會に於て優賞を得たる直經六寸以上の大々輪咲、牡丹咲、獅子狂咲、桔梗咲、八重咲、亂咲を始め最も珍奇の種類を花色別にし十二袋宛を一揃へとし一揃毎に送料共實費廿五錢を送れば直ちに送呈し又混合種子望みの人には(百余種)混合入一袋に培養法を添へ同廿五錢を送る同好者へは迅速に送り屆ける由を本社へ申來れり

▲本日の精神界▼

旭町なる名古屋城內日本メソヂスト敎會にては三日午前九時半より十時半迄日曜學校竝に聖書研究同十時半より十一時半迄禮拜說敎コルテス氏の「基督の神性」午後七時より九時半迄歐話竝に傳道說敎新海重一氏の「聖彈」▲旭町四丁目なる日本基督敎會にては午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜說敎山口照平氏の「先づ己に死せよ復活することを得ん」午後七時半より傳道說敎橋本金太郎氏の「懷疑者」何れも參聽隨意

●諸國盆踊唱歌評(五)

▽昔流行の唱歌でムる
▽花も實もある優しさ

山城の部

「しゆすの袴の襞とるよりも さまの機嫌の取り惡くさ」
「さまの體姿今朝こそ見たれ さつき野に開く百合の花」
「こなた思へば野もせも山も やぶもはやしも知らで開く」
「山に開く花嵐がとくよ わしは君さま見るが毒」

頭取『一括して附議します 曉『不可ね不可ね…… 通『差し支へはげねせん一も不可解の所なきのみか何れもスラ／＼と云ひ切つてありやす拙は頭取の所置を當を得たものと信して藤四郞先生に反對しやす 敎士『異議なし／＼ 惡口『多數黨の橫暴も此所に至つて極まれりだ 頭取『御異議が御座いませんければ明日の日程を報告致させます 書記『大和の部

廓のうはさ

▲取消し(前略)御紙の廓だよりを借りると云ふは甚だ恐入る次第に候處何も博愛と思召し(博愛は君達の事であらう)御載せ下され度候、さて此間京城日報の五面欄に狸と狐との喧嘩と題して井門本支店の藝妓共がされ客さまを引張り凧にして揚句喧嘩に花を開かせ就中妾共が出洒張つた樣に書いてありましたが右は全く無根と云ふ譯ではありませんが事實を言へば本店の藝妓衆が野暮なのと、れ客さまが意氣地がないから起つた事です(オヤ／＼豪らい權幕)別に本支店の妓共同志が眼玉を白黑して睨み合つて居ると云ふ譯では無く、本當なら妾等の樣に廓の一隅に引籠つて居ると違つて天晴れ中券の姐さんと言はるゝ政子さんの權助さんから取消す處なのですがなんの手續も爲ないようですから妾共から取消かた／＼御願に及びます(多少は睨み合つて居る子)月枝、駒龍を代表して濱次より、記者さま御許まゐる

▲れ辰の送別 今回廢業して歸鄕する花月のれ辰は近々御贔負筋を招いで盛んな送別會を催す由但案內を受た人は廿圓以上の會費を要する事勿論也

▲仁川第二敷島樓の樋子事御原まつは今日此頃の不景氣に遣り切れず二日限り廢業したるが夫れはまだしも茲に之れを止めしは同廓喜安樓は一昨日限り廢業したることこれ也南無阿彌陀佛▲同廓にては娼妓五十八名に對し一昨日定期檢黴を執行せしが一名の異狀者もなかりしと芽出度いと云へば芽出度いが此れも不景氣なからと知れては一向振はぬ芽出度さなり

目と耳

▲京城座 同座本晚は京城日報社の慰安會なれば休演明四日は新劇鸚鵡ピストル强盜刑事殺しの演題に於て開演する由なり

▲浪花館 同館にては菊丸一座大連へ乘込みの御禮として卅一日より向ふ一週間木戶場代共無料にて開演する由其の讀物は佐野鹿十郞(廣澤菊八)加太熊太郞(吉田菊丸)此村大吉(廣澤菊造)忠孝譽俠(廣澤菊丸)大阪官員小僧義政(吉川今勝)

▲仁川歌舞伎座 同座にて近年になき大好評を博しつゝある伊東劇今晚の藝題は同一派の最も得意とする「愛と義」にして明晚は「花と茶」を出演す

今日の運勢

四月三日舊二月廿三日二黑 赤口 戊戌危△一白● 衰退の日なり新事見合の事保證助力世話事を禁ず△二黑● 痴癡識を逸するあり酒色盜害を慎しむ△三碧● 懈怠に流れ易き日なり又娛樂に沈溺する勿れ△四綠● 金品授受取引計算上に紛爭あらんとす又間違多し△五黃● 保證世話事を禁ず家族從者より煩累を受くる勿れ△六白● 感情の疎隔を惹起し易し其他快欣の日なり△七赤● 登龍の日とす婚姻入學門就職仕官會見等に良好△八白● 盛運たり開業改革計算等に良好使用人家族のため煩累を受くる勿れ△九紫● 盛運たり開業創業相談會合等に良好但し疎急促進に馳す勿れ

四月四日舊二月廿四日三碧先勝己亥成△一白● 模樣替方針替移轉旅行凶概して平穩なり金屬に關する業務には良好△二黑● 間違易き日なり婚約集團結社に凶自他の什寶を毀損の虞れあり△三碧● 新事見合の事交際取引上齟齬實破れ易し盜害若くは遺失を防ぐべし△四綠● 平靜の日なり旅行移轉命名披露入學門婚姻に忌む△五黃● 懇願若くは要求にあゝあらん利權衝突の根を作らんとす△六白● 勸誘推奬の事に傾くなかれ保證受印を禁す新事見合の事△七赤● 約取引賣貸借事紛擾に歸し易し盜害紛失防ぐべし△八白● 勞して効なき日なり金談相談締約は可成之を避くべし△九紫● 會心の日なり大抵吉養子婚姻舟下し命名入學門等に大に妙(本町五丁目三一舘判斷)

●天氣豫報

(自二日午後六時至三日午後六時)

南、西の風晴後曇

一日(華氏) 最高溫度 四六、〇 最低溫度 三一、五

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ふり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●就職度 三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店官衙を望む 氏名在社(一〇)

●就職度 野菜類…協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

●書生採用 廿歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二 堤法律事務

●店員入用 廿歳内外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組米店

●女雇入 家事手傳又女中入用給料書面以上確に依り勉學餘暇を與ふ前九時迄五時、來談あれ 永樂町二の九二 伊藤

物件部

●電話買入 (姓名在社)

●ポインタ種犬牡一頭歸國に付格安讓る 姓名在社

廣告

一大營養新藥
人體の肥料
牛乳の數倍

次亞燐 ノムトコ飲燐次 ナンモダイ

●賣捌は全國各藥店にあり
本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

電話一一八二番
きちや
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
京城 曙町
大槻商行質部
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

三一館
熱心篤志多年爲斯道於酒徴職奥旨恍然似有得者難堅確推斷敢於沿洋辭意匪漫爲當面解釋也
京城本町五丁目
易斷觀相
和敬授 土御門派天陰陽師
館主

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目 電話八五〇番
竹田津三平

米
明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

生儀多年京都帝國醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務在和辻博士の下に研究致し居候處今回左記の處に於て斯科患者の診療に從事致し候
耳鼻、咽頭、喉頭、氣管病
診療時間 午前九時至午後七時迄
旭町三丁目(三日月旅館上)
前漢城病院耳鼻咽喉科部長
石田耳鼻咽喉氣管科醫院
石田誠
電話開通一七〇九番

今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同樣御眷顧被下度候
京都醫科大學
醫學博士 和辻春次

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
諸官衙御用品調達

委託販賣
東京 ランバーゲ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 鹽業合資會社食鹽特約

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 十番地 電新橋三六九二

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町二丁目
桂萬吉
(電話六二七番)

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 御問屋
西崎嘉七本店
電話二一〇 電略(ニカ)
振替貯金口座韓七番

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
ものし、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
京屋
主任 島田嘉吉

溫泉湯
きゝめのある
此の溫泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこぬ、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷溫泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷溫泉
電話千四百十一番

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(藪そば横町)電話一五八三番

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
大上商店
京城本町五丁目
(電話二五一番)
自製 和洋酒、㊞精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、壚辛、日本食鹽各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

京城ホテル
京城南山町(元日本人倶樂部事)
長電話 一二三
電話 四九二番

開業御披露
今般左記の處に開業致し粹樣方の御來車を待申候
京城本町八丁目横入初音町
待合貸席
松廼家
電話千三百九番

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類

正札 ㊀ 引なし
官衙、陸軍銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨 御小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

入院隨意
内科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話(二一六)

純良牛乳
●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧場
電話番〇六九番

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主 醫學得業士 中島貞信

經濟無比 即席吸物
●即席吸物は味の素より御手輕で風味善き品々一包に只煮湯を注げば速席御馳走が出來ます
●不意の御來客の時は最も上品な美味輕便の吸物で奧樣始め御獨身の御方には至極重寶料理であります
●論より證據一度御使用の上御試しあらん事を偏に願上ます
一袋 十人前入 金十五錢
●各日用食料雜貨店に販賣致します
●卸賣は特に御相談に應じます
●御一報次第多少に不拘持參致します
●遠隔の地は御報次第小包で送ります
即席吸物 韓國發賣元 ㊉ 砂本支店
龍山榮町 日用雜貨卸小賣
(電話七二一番)

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄
(電話三三)

特定御用 牛乳 井牧場 電話一三五六番

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話改番 一三一五

移轉廣告
今般擴張の爲左の處に移轉尙一層大勉强致候間多少に不拘御用仰付被下度願上候
龍山榮町元井筒跡
履物商 遠山商店

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島壽藏
(電話四百十二番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
蛋白脂消化 ヂグスチン 錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散劑一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

蒸滊 牛乳 消毒
京城大和町一丁目
平山牧場
電話 三

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

神戶資生分院
京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 鹿田鉡平
(電話一二九四)

值上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番